

平成27年7月29日

## 研修報告書

松戸市議会議員  
大塚 健児

- 研修：マニフェストサミット2015「政策で勝負する議会へ」  
主催：ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟  
日時：平成27年7月29日（水） 13時～17時  
場所：早稲田大学日本橋キャンパス  
次第：1. 基調講演 北川正恭氏「今こそ、政策で勝負する議会へ」  
2. 先進事例発表  
3. パネルディスカッション  
4. 問題提起 青木佑一「未来の有権者意識調査結果と課題」  
5. 先進事例紹介  
6. 議員ポスター総選挙  
7. 提言、閉会

### 【研修報告】

1. 基調講演 北川正恭「今こそ、政策で勝負する議会へ」



投票率の低下。日本の民主主義が危ないのではと思う。  
以前は官官接待を当然のこととして利用し、補助金をもらっていた。  
ノーパンしゃぶしゃぶなどが例である。  
以前はそれをよしとしていた。  
地方も当たり前と思って犯罪していた。これが公金横領。  
官官接待を全廃。  
しかし、執行部首長は改革してはいけないという性質をもっている。  
秩序を守っているという体質。  
議会は民意の反映。民間の代表者機関であり、決定権がある。

議員自身はやっているところがある。しかし、議会が何をやっているかさっぱりわからない。

改革の進んでいない議会ほどやっていると言っている。

根本的に議会を変えるという決意してやっていかないと。

議会事務局は執行部のスパイであると本気で考える。

若いのが騒いでいるマイノリティーからマジョリティーに変える

本気で立ち上がって民意を反映する。

予算の分配は不利益の分配の現状。

政策の優先順位によって、決められていくべき。

## 2. 先進事例発表

「可児市議会の議会改革と、地域型解決型キャリア教育支援事業について」

川上文浩 可児市議会議長



### ★議会改革について

#### ①大学との連携取組

教授のゼミに参加をし、意見交換を行う。逆に議会報告会に教授とゼミ生に参加をしてもらっている。

#### ②正副議長立候補制度

#### ③議会改革のためのアンケート調査

市民2,000人。政務調査費（全議員が支出）をつかった調査。

#### ④政策提言・提案などの取組

決算審査による予算編成への提言。

#### ⑤議会基本条例特別委員会

#### ⑥ICTを活用した委員会運営

無料のサイボウズライブを平成23年9月に設置。

#### ⑦基本条例に基づく議会報告会の実施

意見交換をグループ形式で実施。

⑧議会情報発信の取組

議会だより、ケーブルテレビ、FMラジオ、本会議及び委員会の動画配信、グーグルカレンダー、議会Facebook

⑨各種団体との懇談会

⑩議員研修の充実

有識者を議会に呼び研修会を行う。

⑪定数・報酬・委員会の在り方の見直し

★地域課題懇談会（キャリア教育支援）

①可児高校、高校生議会の実施

②キャリア教育研修会の実施

講師に可児高校の教諭を呼び研修会の実施

地方都市が衰退しないように大人×若い世代（高校生）が可児市の魅力をしる場を設ける。

それが地域課題解決型キャリア教育

高校生が実際に意見書を出す。

③IPE手法を活用した意見交換

多職種間連携教育の略で、複数の領域の専門職者が連携し、お互いから学び合い、お互いのことを学ぶ仕組み

実施にマニフェストサミットに可児高校の生徒が来て、一人ひとり感想を述べました。

・あまり深く考えたことのなかった可児市のことを考え、色々な方の話を聞いてしっかりと考えることができました。

・一生懸命勉強して、地域に貢献できる人間となり、地元に戻っていきたい。



### 3. パネルディスカッション

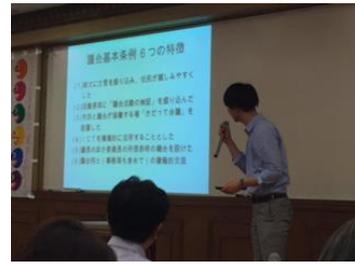
西科純（芽室町議会事務局長）

清水克士（大津市議会局議会総務課長）

長内紳悟（久慈市議会議会事務局主任）

▽コーディネーター中村健（早稲田大学マニフェスト研究所選挙改革調査部会）

※執行部によるパネルディスカッションを行った。



※パネルディスカッションの様子

Q1 議員定数削減と報酬削減については

アンケート調査を行い、説明会などを行った結果、芽室町議会の報酬は上がる結果となる。

一方で、議員を減らせという声が多く、芽室町議会のように街がよくなったから報酬アップとはなかなかいかない。

Q2 議員はもっとこうしたらいいのではというアドバイスは？

決めるのは議員である。事務局はブレーンであるべき。

全国で一番先ということよりも、政策提言をまず行うべき。

執行部側が議員の御用聞き。議員は動かない。これは市民から見てどうなんだろう。

### Q3 人事について

4年ベースで変わる。中にいる有力議員が握っている。執行部側は議会をおさえつけてやろうという人事もあるのでは？議会側にきてはじめてわかることもある。

### Q4 職員は事務局に行きたがっているか。

大分人気が高まってきている。

来たいと思う職員はいないと思う。今までは行政の都合ばかりを見ていたが、事務局に配属され、熱意だけでなく住民の視点で見ることの大切さを学んだ。

議会を見ていると陳情、要望しかやっていない。

## 4. 問題提起 青木佑一「未来の有権者意識調査結果と課題」

パワーポイントにより有権者の意識調査をもとに説明をする。

驚いたことは、埼玉県知事選の模擬選挙で

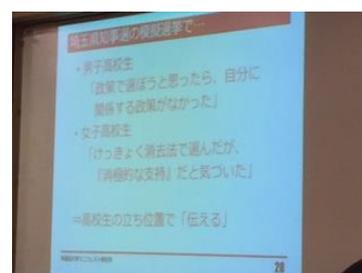
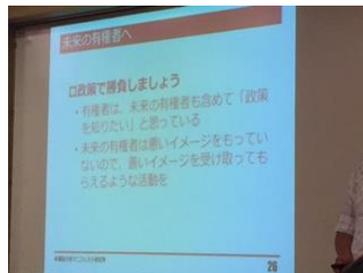
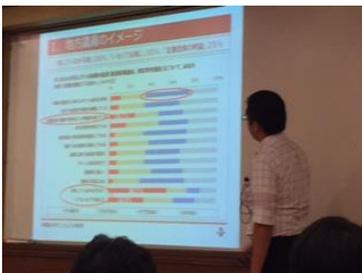
男子高校生は「政策で選ぼうと思ったら、自分に関係する政策がなかった」

女子高生「結局消去法で選んだが、消極的な支持だと気づいた」

という意見である。

これは『お願い』選挙から脱却できずにいることを示す。

これからは、有権者が政策で選ぶ選挙をしなければならない。



## 5. 先進事例紹介

黒川勝（横浜市議会）

浜口健司（さいたま市議会）

清家あい（港区議会議員）

園田裕史（大村市議会議員）

斉藤りえ（北区議会議員）

※以上5名ともトップ当選

### 【私の考え】

それぞれ様々な工夫がされていたこと、大変勉強にあったが、どちらかという、選挙に当選の仕方みたいなテクニク的な研鑽がされたことは残念である。

それよりもどの候補者も成果がどれだけあって、今度はこの政策を実現するという本来のマニフェスト型の選挙が聞きたかった。



黒川勝（横浜市議会）



浜口健司（さいたま市議会）



清家あい（港区議会議員）



園田裕史（大村市議会議員）



斉藤りえ（北区議会議員）

斉藤さんは聴覚障害がありながらも、しっかりと自身の口から説明をしました。無駄な話は一切なく、単刀直入な意見がかえって聞きやすかったです。

## 6. 議員ポスター総選挙

様々な工夫がされたポスターを見て正直どれを選ぼうか大変迷った。

主観的にデザインで選びがちな自身の頭をたたき、しっかりと政策で選びました……。

結局私でさえデザインで選ぼうとしたので、なかなか政策で選ぶというのは難しいと思いました。私の役目は、しっかりと政策で選ぶ社会づくりです。



※優勝したのは武蔵野市議会議員川名ゆうじさん

### 【まとめ】

改めて様々な議員と交流ができ、先進事例なども聞くことができ、大変満足した研修会でした。それと同時に、本当に松戸市もこのままでいいのかという不安もよぎりました。

私にできることから少しずつ初めていきたいと思います。

『このままでは駄目、変わろう』と本気で決意しなければ議会改革はできないと思いました。

感情論で申し訳ない・・・・・・・・。

以 上